# 第五学年〇組 国語科学習指導案

指導者 末崎 浩嗣

単 元 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう「なまえつけてよ」(光村図書)

#### 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、登場人物の行動や気持ちについて叙述を基に捉え、登場人物の気持ちの変化 や性格、情景を、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像して物語を読むことができるようになっている。 そこで、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えて読むことができるようになるこの期に本単元 を取り上げる。そして、直接的な描写や暗示的な表現の仕方に着目して読み、人物像を具体的に想像しながら考え や感想を伝え合い、自分の考えを広げることができるようにする。このことは、言葉に関する知識及び技能を基に 豊かに感じたり想像したりしながら、自分の思いや考えをつくりあげる子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第4学年「世界一美しいぼくの村」で、ヤモの気持ちの変化や性格、情景について、場面の 移り変わりと結び付けて具体的に想像し、物語を読んで感じたことや考えたことを伝え合う学習してきている。 本単元では、これらの上に立って、「なまえつけてよ」の春花と勇太の相互関係を捉え、2人の関係や心情の変化 について感想を伝え合うことができるようにする。このことは、第5学年「たずねびと」の綾の人物像、物語の全 体像を具体的に想像する学習へ、第5学年「大造じいさんとガン」の人物像と物語の全体像を表す効果的な表現に ついて考える学習へと発展していく。
- 本単元の指導にあたっては、春花と勇太の相互関係と心情を、描写を基に捉えることができるようにする。特に 本時指導にあたっては、まず、導入段階では、学習の進捗状況を話し合い、勇太の春花に対する心情の変化を明ら かにするめあてをつかむことができるようにする。次に、展開段階では、勇太の春花に対する心情が分かる描写を 書き出し、3日間の勇太の心情とその変化を捉えることができるようにする。最後に、終末段階では、本時学習で 目を向けた言葉や考え方、学習の進捗状況について話し合い次時学習への見通しをもつことができるようにする。

## 目標

- (1) 登場人物の相互関係や心情、人物像を表す語句の量を増やしたり、「まるで~のような」「~ように」といった 直喩「元気のいい字が、おどっている」といった擬人法の比喩表現を理解したりすることができるようにする。
- (2) 登場人物の春花と勇太の相互関係及びそれぞれの心情の変化を捉えて、2人の人物像を具体的に想像しながら、 春花と勇太の関わりについて考えをまとめて、感想を伝え合い、自分の考えを広げることができるようにする。
- (3) 進んで、登場人物の相互関係や心情について描写を基に捉えて人物像を具体的に想像し、春花と勇太の関わり について自分の考えや感想を文章にまとめたり、根拠を示して友達と話し合ったりしようとする態度を育てる。

### 計画(6時間)

- 1 教材文を読んで感想を話し合い、春花と勇太の関わりを明らかにする学習課題をつかませる。——
- 2 教材文を読んで、春花と勇太の心情と関わりの変化、人物像を具体的に想像させる。-
  - (1)春花の心情の変化について ------ ① (2) 勇太の心情の変化について ------ ①**本時**
  - (3) 春花と勇太の関わりの変化について----① (4) 春花と勇太の人物像について -----①
- 3 春花と勇太の関わりについて自分の考えを文章にまとめて、友達と意見や感想を伝え合い、春花と勇太の心情 と関わりの変化、人物像に対する自分の考えを広げさせる。—

本時 令和2年5月○日(○曜日) 1校時 5年○組教室において

- **主眼1** 勇太の行動や会話、様子を表す描写から、子馬に名前をつけることができなかった春花の思いを感じ、失意 の春花を励ますため、自分ができることをしたいと思った勇太の心情の変化を捉えることができるようにする。
  - 2 春花に対する勇太の心情と分かる行動や会話、様子を表す言葉を書き出し整理する3日間の表と、勇太の心 情の変化を表す心情図を用いて、自他の考えと理由を可視化し描写を根拠に話し合うことができるようにする。

準備 叙述パネル, 挿絵, 解釈シート

#### 過程

段階 学習活動と予想される子供の反応 教師の具体的な支援 導 1 教材文「なまえつけてよ」を読み進めている学習の進捗状況 ○本時学習のめあてを明確にさせるために 入 を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。 学習計画と春花の心情の変化を整理した 流れ図を提示する。 【教材文「なまえつけて ・春花の勇太に対する心情 よ」】 の変化が分かった。 ・春花の心情の変化と、 ・勇太の春花に対する心情 の変化はどうなっている きっかけとなる出来事 のかな。 (前時) 勇太の春花に対する心情は、どのように変わっているのか 話し合おう。 展 2 勇太の春花に対する心情が分かる描写を書き出して、文中の 開 言葉を根拠に話し合い, 勇太の心情の変化を明らかにする。 (1) 勇太の春花に対する心情が分かる描写と、選び出した理由 〇勇太の春花に対する心情が分かる描写を を記述して話し合い、3日間の勇太の心情を捉える。 選び出させるために、登場人物の行動や 会話, 気持ち, 情景といったこれまでに ・勇太は、話すことが苦手 ・話しかけても、勇太は なのではないかな。 用いた読みの視点を提示する。 あまりしゃべらない。 ・春花と目を合わせられ 勇太は目を合わせない。 ない。恥ずかしい。 「もう行こう。」 嫌な気持ちではない。 [2月目] ・勇太は,春花がどんな名 「名前,なんてつけるんだ。」 前をつけたか気になる。 こまったような顔をして、 ・失意の春花に、どう接し 春花の方をじっと見ていた。 ていいか分からない。 ווווכנוו [3月目] ・勇太は自分なりに春花 ・わたすと, 勇太は急いで を励ましたかった。 行ってしまった。 何かできることをしよう ・なまえつけてよ。 と一生懸命考えた。 (2) 3日間の勇太の春花に対する心情とその理由を、描写を根 | ○勇太の春花に対する心情の変化と理由に 拠に話し合い、勇太の心情の変化を明らかにする。 ついて描写を根拠に話し合わせるために 春花 勇太の心情図を板書上で整理する。 勇太は、春花に話しかけ てもらったことが, 内心 春花に自分が [3日目] は嬉しかったのかも。 [2日目] ・子馬に名前をつけること ができなかった,春花の 春花への関わり方 [1日日] が分からない 思いを感じ取っている。 勇太 春花との関わり方がわからなかった勇太は、春花の思い を感じ、自分にできることをしたいと思うようになった。 終 ○本時学習をまとめ,次時学習への見通し 3 本時学習のまとめを話し合い,次時学習への見通しをもつ。 を持たせるために, 板書と流れ図を基に 末 ・勇太の心情の変化と, ・勇太の心情や変化は,春花 春花との関係(本時) との関係や物語全体を通 学習の流れを整理し、目を向けた言葉や ・春花と勇太の関わりの して読むと分かる。 考え方をキーワード化して指し示す。 ・次は2人の関わりを読む。 変化(次時)

## 本単元の構成

]時	学習活動と予想される子供の反応 教師の具体的な支援
15	1 これまでの文学的な文章の学習を振り返り、教材文「なまえつけてよ」を読んで、本単元のめあてについて話し合う。     【文学的な文章<4年>】     ・登場人物の気持ちの変化や、性格、情景を想像して文章の・ごんぎつね・ごんぎつね・一つの花     【「なまえをつけてよ」を読んで】・それぞれによさがあったね。・それぞれによさがあったね。・・それぞれによさがあったね。・・それぞれによさがあったね。・・この物語と比べて春花と男太の気持ちや2人の関係がはっきりと表れていない。・この物語を友達はどう感じたかな。感想を話し合いたい。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	春花と勇太の関わりを読み深め、「なまえつけてよ」の感想を伝え合おう。
5	2 教材文「なまえつけてよ」の春花と勇太の心情と関わりの変化について話し合い、2人の人物像を具体的に想像する。
	【2日目】 ・もしかして勇太は来ないかもしれないな。 ・風がさあっとふきぬけた。 【3日目】 ・受け取ったものを見て、春花は、はっとした。・ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。 ・ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。 ・ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。 ・ありがとう。春花は、心の中でつぶやいた。
,	・春花は自分の思いをくみ取り励ましてくれた勇太に感謝している。 ・勇太の新たな一面を知り、親しみを感じているのではないかな。

通して, 勇太に感謝や親しみを感じるようになった。

**45** 本時 ○勇太の春花に対する心情が分かる描写を書き出して,文中の言葉を 根拠に話し合い,勇太の心情の変化を明らかにする。

- ・話しかけても、勇太はあまり しゃべらない。
- ・勇太は目を合わせない。
- 「もう行こう。」
- ・勇太は、話すことが苦手なのではないかな。
- ・春花と目を合わせるのが、恥ずかしいのだろう。
- 嫌な気持ちではないだろう。

○勇太の心情の変化を明らかにする ために、勇太の思いや感情が分か る言葉とその理由を書き出す解釈 シートを提示し、板書上で春花の 心情の変化を整理する。

- 【2月目】
- 「名前、なんてつけるんだ。」
- 二人ともこまったような顔をして、春花の方をじっと見ていた。
- ・勇太は,春花がどんな名前を つけたか気になっている。
- ・春花の失意を感じて, どうし ていいか分からない。

【3月目】

- わたすと、勇太は急いで行ってしまった。
- ・なまえつけてよ。
- ・勇太は自分なりに春花を 励ましたかったのだろう。

\_\_\_\_\_

- ・何かできることをしようと一生懸命考えたのかな。
- ・勇太は、春花に話しかけてもらい、内心は嬉しかったのかも。
- ・子馬に名前をつけられなかった春花の思いを感じ取っている。

勇太は,春花との関わり方がわからなかったけれど,春花の思いを 感じ,自分ができることをしたいという思いをもつようになった。

親しくなるきっかけが つかめない関係

【2月目】

報われない場面を 共有する関係 【3月目】

思いを分かり合う 関係

一緒に話す時間が少ないけれど、お互いに親しくなろうと自分にできることをしている。

春花と勇太は, 互いの思いを分かり合う関係へと変わっていく。

45 ○春花と勇太の人物像について話し合い,これからの2人の関わりに ついて明らかにする。

【春花】

・子馬の命名に誠意をもって向き合う

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

・思いや考えを内に秘める

【勇太】

- ・相手の気持ちを分かり思いやる
- 話すことが苦手でも行動で示す
- 2人の人物像には、共通点がある。きっとこれからも、2人は、 少しずつ親しくなり仲を深めていくのだろう。
- 45 3 春花と勇太の関わりについて自分の考えを文章にまとめて、友達と 意見や感想を伝え合い、自分の考えを広げる。

春花と勇太の関わりについて、友達と意見や感想を話し合い、友達 との関係をつくる言葉の大切さを感じた。登場人物の相互の関係や 心情、人物像を読むと、より物語の楽しさが味わえる。

- ○春花と勇太の3日間の関わりの変 化を明らかにするために,1日ご との2人の関係を一言で表し,根 拠の言葉と理由を板書上で可視化 して整理する。
- ○春花と勇太のこれからの関わりに ついて明らかにするために, 2人 の人物像を比較する解釈シートを 提示する。
- ○春花と勇太の関わりについて自分 の考えを広げさせるために,意見 や感想の異なるグループ編成をし 対話の環境を整える。

-末崎 4 -